



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 株式会社 妙徳

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	1,951	16.0	350	67.6	363	67.0	234	61.3
28年12月期第3四半期	1,682	11.6	209	40.8	217	40.4	145	24.6

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 307百万円 (310.2%) 28年12月期第3四半期 75百万円 (57.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	32.09	31.96
28年12月期第3四半期	19.92	19.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,641	4,073	87.3
28年12月期	4,239	3,819	89.6

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 4,050百万円 28年12月期 3,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		4.00		4.00	8.00
29年12月期		4.00			
29年12月期(予想)				6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,596	15.3	426	58.0	437	53.5	282	51.4	38.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 及び (4)追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	8,285,000 株	28年12月期	8,285,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期3Q	954,710 株	28年12月期	974,613 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	7,315,972 株	28年12月期3Q	7,308,489 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業の収益等の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら一方では、中国や新興国等における経済や政策など、依然として先行きには不透明感が続いています。

このような環境下、当社グループは、コア技術である真空技術に特化した研究開発に取り組むとともに、顧客ニーズを的確に捉えた新製品の迅速な開発と市場投入により、売上拡大に取り組んでまいりました。生産面においては、引き続き製品原価率の低減や、顧客満足度向上を目指した短納期生産と社内システムの構築などに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,951,878千円（前年同期比116.0%）、連結経常利益は363,615千円（前年同期比167.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は234,776千円（前年同期比161.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体製造装置業界、電子部品業界の旺盛な需要を背景に、販売は堅調に推移いたしました。このような環境下、需要の拡大に合わせた既存製品の拡販を進めるとともに、食品関連装置業界で新製品の拡販に注力いたしました。その結果、売上高は1,333,588千円（前年同期比111.9%）となりました。営業利益については、売上高の増加による粗利益の増加などにより267,098千円（前年同期比170.9%）となりました。

② 韓国

半導体製造装置業界や液晶パネル製造装置業界で新製品の拡販活動に取り組んだことなどにより、売上高は363,305千円（前年同期比126.1%）となりました。営業利益については、現地生産品の販売比率拡大による製品原価率の低減などにより63,369千円（前年同期比196.8%）となりました。

③ 中国

スマートフォン関連の製造設備業界及び車載向け電子部品業界へ注力して拡販活動に取り組んだことなどにより、売上高は170,007千円（前年同期比122.5%）となりました。営業利益については、28,337千円（前年同期比194.2%）となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。また、昨年設立した米国子会社により、米国市場での新規顧客の開拓に努めてまいりました。この結果、売上高は84,976千円（前年同期比133.9%）となりました。営業利益については、米国子会社の初期投資費用等の影響もあり、8,421千円の営業損失となりました。（前年同期は5,988千円の営業利益）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ346,075千円増加し、2,335,758千円となりました。これは主として、現金及び預金が117,160千円、電子記録債権が269,705千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が60,292千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ56,361千円増加し、2,306,023千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ402,436千円増加し、4,641,781千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ120,738千円増加し、386,158千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が37,853千円、未払法人税等が14,642千円、流動負債のその他が55,529千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ28,040千円増加し、182,261千円となりました。これは主として、長期繰延税金負債が28,645千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ148,779千円増加し、568,419千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ253,657千円増加し、4,073,361千円となりました。これは主として利益剰余金が176,246千円、その他有価証券評価差額金が64,335千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は87.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想(2017年8月1日)から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の改修可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,040,870	1,158,030
受取手形及び売掛金	484,390	424,098
電子記録債権	10,470	280,176
製品	152,277	176,821
仕掛品	98,391	104,855
原材料	126,380	122,166
繰延税金資産	39,132	42,663
その他	38,224	27,540
貸倒引当金	△454	△594
流動資産合計	1,989,682	2,335,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,453,014	1,447,607
減価償却累計額	△672,650	△707,780
建物及び構築物(純額)	780,364	739,826
機械装置及び運搬具	825,786	866,781
減価償却累計額	△647,608	△672,743
機械装置及び運搬具(純額)	178,178	194,037
土地	737,728	732,053
その他	620,740	641,039
減価償却累計額	△507,743	△539,460
その他(純額)	112,996	101,578
有形固定資産合計	1,809,267	1,767,497
無形固定資産	132,720	129,712
投資その他の資産		
投資有価証券	235,836	337,191
繰延税金資産	1,751	2,891
その他	70,085	68,730
投資その他の資産合計	307,673	408,813
固定資産合計	2,249,661	2,306,023
資産合計	4,239,344	4,641,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,222	79,075
未払法人税等	70,606	85,248
繰延税金負債	11	—
賞与引当金	48,770	48,287
役員賞与引当金	—	13,207
その他	104,809	160,339
流動負債合計	265,420	386,158
固定負債		
退職給付に係る負債	127,319	128,318
繰延税金負債	9,390	38,036
その他	17,510	15,906
固定負債合計	154,220	182,261
負債合計	419,640	568,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	949,355	950,430
利益剰余金	2,245,495	2,421,742
自己株式	△231,565	△226,928
株主資本合計	3,711,410	3,893,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,952	124,287
為替換算調整勘定	26,903	33,342
その他の包括利益累計額合計	86,855	157,629
新株予約権	8,389	6,964
非支配株主持分	13,048	15,399
純資産合計	3,819,704	4,073,361
負債純資産合計	4,239,344	4,641,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,682,439	1,951,878
売上原価	744,250	834,689
売上総利益	938,189	1,117,189
販売費及び一般管理費	729,160	766,805
営業利益	209,029	350,383
営業外収益		
受取利息	3,375	2,594
受取配当金	6,619	6,088
受取地代家賃	9,769	8,817
為替差益	—	157
その他	3,994	1,003
営業外収益合計	23,759	18,662
営業外費用		
売上割引	106	155
為替差損	10,510	—
減価償却費	4,140	4,395
その他	273	879
営業外費用合計	15,030	5,430
経常利益	217,758	363,615
特別利益		
固定資産売却益	1,150	1,945
新株予約権戻入益	—	274
特別利益合計	1,150	2,220
特別損失		
固定資産売却損	—	4,187
固定資産除却損	442	2,515
特別損失合計	442	6,702
税金等調整前四半期純利益	218,466	359,132
法人税、住民税及び事業税	75,743	108,022
過年度法人税等	—	19,109
法人税等調整額	△4,439	△4,369
法人税等合計	71,303	122,762
四半期純利益	147,163	236,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,611	1,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,551	234,776

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	147,163	236,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,260	64,335
為替換算調整勘定	△58,882	7,052
その他の包括利益合計	△72,142	71,387
四半期包括利益	75,020	307,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,709	305,550
非支配株主に係る四半期包括利益	310	2,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,192,004	288,207	138,772	1,618,984	63,455	1,682,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	197,137	51,797	1,296	250,232	—	250,232
計	1,389,142	340,004	140,069	1,869,216	63,455	1,932,672
セグメント利益	156,258	32,192	14,589	203,040	5,988	209,029

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,040
「その他」の区分の利益	5,988
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,029

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,333,588	363,305	170,007	1,866,901	84,976	1,951,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	286,283	67,323	—	353,606	—	353,606
計	1,619,872	430,628	170,007	2,220,508	84,976	2,305,484
セグメント利益	267,098	63,369	28,337	358,804	△8,421	350,383

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	358,804
「その他」の区分の利益	△8,421
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	350,383